

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0902011

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2	林業の振興	事業優先度	B		
単位施策	1	生産体制の強化	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	公用車更新事業		見直し年度			
事業期間	平成24年度		担当課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	公用車更新台数		関係課	#N/A		
事業目標	1台		ハード/ソフト事業区分	1	ハード事業	
住民参加	2		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

121	全体計画 事業内容	平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計画内容	・公用車更新 1台					公用車更新 1台	
	事業費(千円)	3,500	0	0	0	3,500	
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	3,500				3,500	
実績事業費	事業費(千円)	3,463	0	0	0	3,463	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	3,463				3,463	
関連事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値				公用車更新 1台	
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99%
		全体達成率	0%	0%	0%	0%	99%
	事業進捗状況					☆☆☆☆	

事業名	公用車更新事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井 弘道
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	福田 泰弘

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	公用車輛	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	公用車購入
【抱える課題やニーズは】	公用車の老朽化により、修繕費が嵩み、安全管理にも支障を来している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	林道等の走行に安全な車輛に更新する。	① 林務車購入	目標年度 平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	公用車の修繕費の抑制並びに安全管理	／林務車購入実績	目標値 1台
			実績値 1台
			達成度 100.0%
		②	目標年度 年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①公用車購入	林務車を入札により購入。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	老朽化し、修繕料が嵩んでいたため、維持経費削減及び安全管理の観点からも更新する必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	公用車の適正な維持及び安全管理が推進されており、有効である。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	老朽車輛のため修繕料が嵩んでいたが、入札により事業費が抑制できたこと、また、用途に合わせた車輛に更新したことにより、コストに見合った効果が得られている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

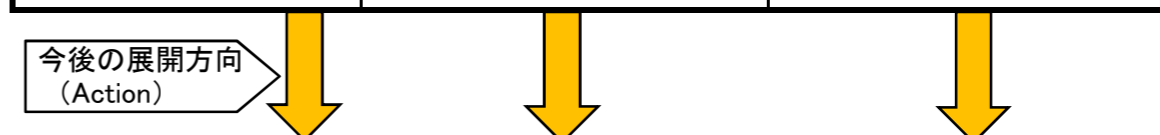
公平	判断の理由	林道等の走行には専用車輛が必要であり、公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公用車輛の適正(安全)管理が図られた。		



今後の展開方向(Action)		
終了		
車輛更新により平成24年度事業終了。		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止